

科学研究費助成事業（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	21670002	研究期間	平成21年度～平成25年度
研究課題名	神経回路網の多様性を生み出す発生分化プログラムの分子基盤	研究代表者 (所属・職)	白崎 竜一（大阪大学・大学院生命機能研究科・准教授）

【平成24年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>研究代表者が、神経回路網の多様性を生み出す発生分化プログラムの分子基盤を解明するために、マウスの交連ニューロンの軸索ガイダンス機構をモデルに選んだ着想は高く評価できる。2つの研究目的のうち、第一の目的である、交連ニューロンのサブクラス特異的な軸索ガイダンスプログラムの同定においては、予定どおりの成果を挙げ、学会発表登録まで進んでいる。第二の目的である、中間標的での軸索ガイダンスプログラムの修飾改変を引き起こす分子機構の解明においては、その一部において予想した実験的証拠が得られておらず、別のアプローチや実験計画の見直し等による解決が必要である。</p> <p>研究成果の公表については、現時点では学会発表か論文投稿準備中の段階であり、積極的かつ迅速な英文論文公表が望まれる。</p>	